平成28年 10月 ~ 12月期 実績 平成29年 1月 ~ 3月期 見通し

# 中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き	<u>\$</u>	2
業況天気図		3
全産業の推移		4
製造業の推移		7
建設業の推移		11
小売業の推移		15
サービス業の推移		19
全産業の過去データ * 平成15年1月以		23
〔集計資料〕		

#### D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加(上昇・好転)企業 割合から減少(低下・悪化)企業割合を 差し引いたものです。

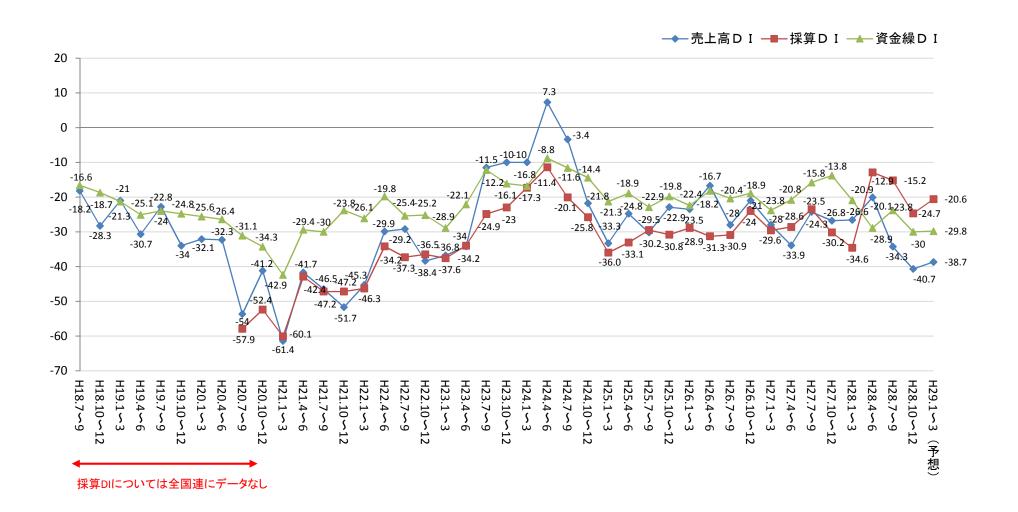
D・Iがプラスなら強気(楽観)、マイナスなら弱気(悲観)、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・I はゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変 企業30%、減少企業20%の場合、D・I は50 - 20 = 30となり、全体として経 営者の売上高に対する強気の度合いを表 しています。

#### [ 岩手県 産業全体]

#### 主要景況項目の動き 一前年同期比一



# 業 況 天 気 図

	_	期間	平成27年				平成28年				(見通し)
業	種		1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	平成29年 1~3月
製	造	業	曇	图中	薄 曇	曇	₩ 曇	<b>漫</b>	■ 小	曇	曇
建	設	業	曇	平中	雨	曇	曇	海	青	雨	雨
小	売	業	雨	雨	雨	雨	曇	雨	雨	雨	雨
<b>サ</b> -	- ビ	ス業	曇	曇	曇	曇	曇	曇	雨	雨	雨

売上高DI	100.0	30.0	10.0	△10.1	△30.1
	~30.1	~10.1	~△10.0	~△30.0	~△100.0
表示	快晴	晴	薄 曇	曇	雨

### 全産業の推移

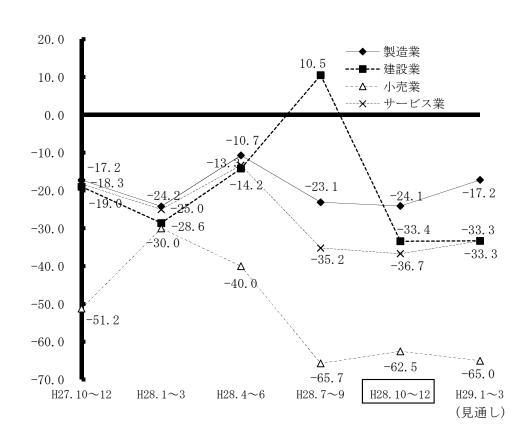
#### 売 上 高

#### 建設業が大幅に悪化

今期は、前期プラス領域にあった建設業が、43.9ポイントと大幅に減少し、 $\triangle3$ 3.4まで悪化しました。

また、製造業が、1ポイント減少の $\triangle$  2 4. 1、サービス業が 1. 5ポイント減少の  $\triangle$  3 6. 7となり、共に 2 期連続して悪化しました。小売業のみが 3. 2ポイント増加しましたが、 $\triangle$  6 2. 5の低い水準にとどまっています。

来期は、製造業とサービス業が増加、建設 業、は横ばいですが、小売業において減少の 見通しとなっています。



※建設業の売上高は完成工事高

# 全産業の推移

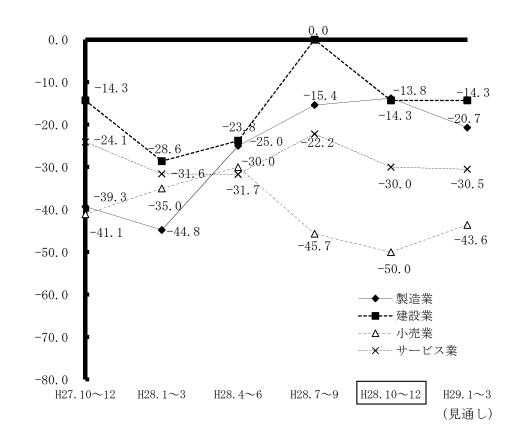
#### 採 算

#### 製造業を除く3業種において悪化傾向

今期は、製造業が1.6ポイント増加しま したが、建設業が14.3ポイント減少して  $\triangle 14.3$ 、サービス業が7.8ポイント減 少の△30.0、小売業が4.3ポイント減 

来期は、小売業において改善が見込まれま すが、その他の業種ではほぼ横ばい又は悪化 となる見通しです。

※採算は各業種とも経常利益



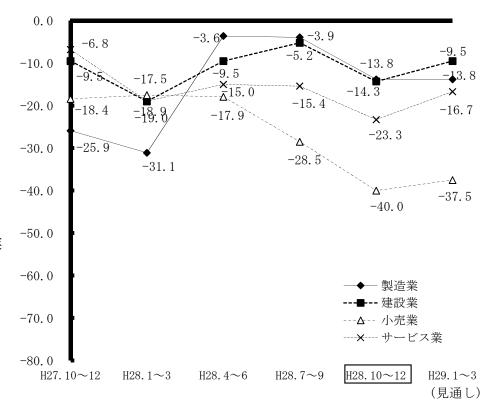
# 全産業の推移

# 資金繰り

#### 全業種において資金繰りが悪化

今期は、全業種において資金繰りD・I が 悪化しました。特に小売業は、11.5 ポイント減少し、2 期連続の悪化となりました。 製造業においては9.9 ポイント減少し $\Delta 1$  3.8、建設業では9.1 ポイント減少し $\Delta 14.3$ 、サービス業では7.9 ポイント減少の $\Delta 23.3$  まで悪化しています。

来期は、製造業が横ばいで、その他の3業 種では好転する見通しです。



### 製造業の推移

#### 売 上 高

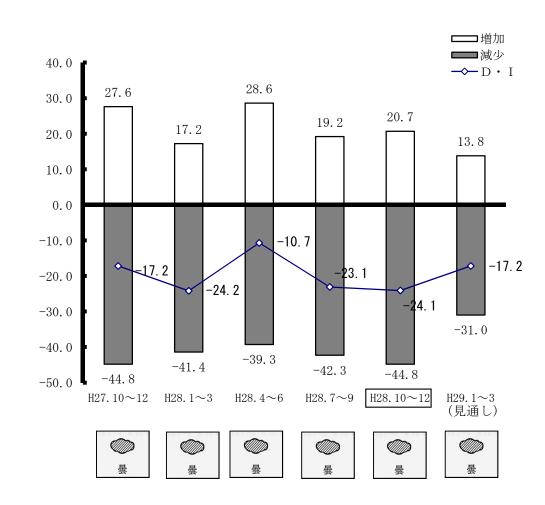






今期は、売上増加企業と売上減少企業が共にわずかながら増加しました。この結果、売上高D・Iは1.0ポイント減少の△24.1となり、ほぼ横ばいとなっています。

来期は、売上高の増加を予想する企業が減少するものの、売上の減少を予想する企業が13.8ポイント減少するため、売上高D・Iは $\triangle 17.2$ となり、大幅に改善する見通しです。



### 製造業の推移

#### 採算

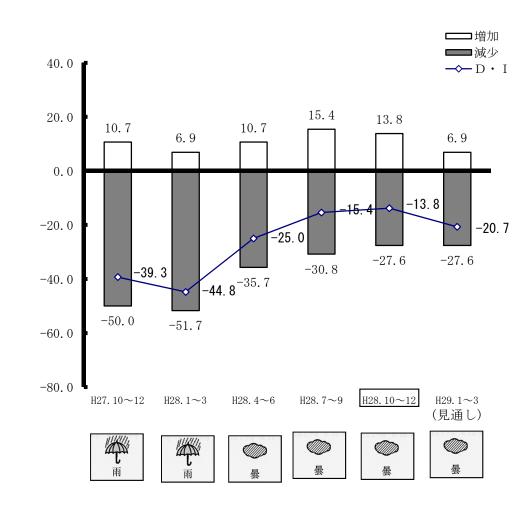






今期は、採算が好転した企業の割合が減少したものの、採算が悪化した企業の割合も減少したことから、採算D・Iは1.6ポイント増加し $\triangle$ 13.8にまで回復しました。

来期は、採算の好転を予想する企業が大幅に減少し、採算が悪化すると予想する企業が横ばいであることから、採算D・I採算は悪化する見通しです。

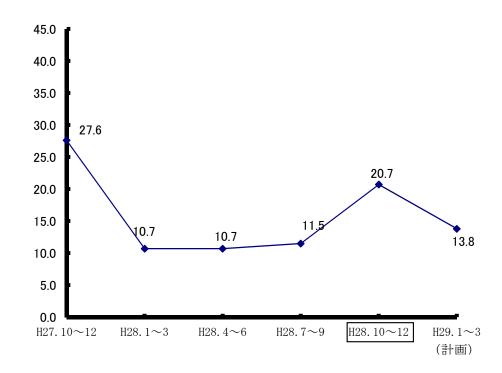


# 設 備 投 資

今期は、設備投資を行った企業数は大幅に増加し、20.7でした。

来期は、設備投資を計画する企業数が再び減少に転じると見込まれます。

(注) この指標は、規模の大小に かかわらず、設備投資を実施した 企業数の割合を示します。

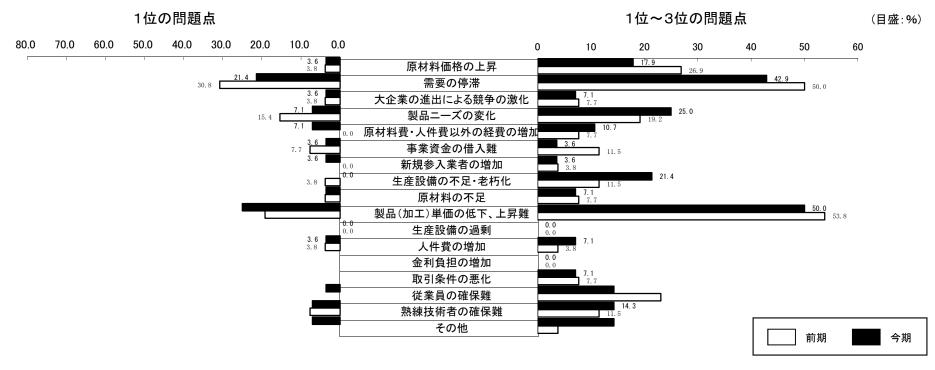


### 製 造 業 の 推 移

### 経営上の問題点

#### 岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



#### 売 上 高









今期は、売上高の増加を挙げた企業の割合が大幅に減少し、また、売上高の減少企業が大幅に増加したことから、売上高 D・Iは43.9ポイント減少の△33.4となり、景況天気図も晴れから再び雨へと変化しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業、減少を予想する企業の割合がともに減少することから、売上高D・Iは、ほぼ横ばいの見通しです。

**|** 減少 40.0 **→** D • I 31.6 28.6 28.6 30.0 19.0 23.8 20.0 14.3 10.5 10.0 0.0 -10.0-14. 2 -20.0-19.0-21.1-30.0 -28. 6 -33.3-33.4-40.0-42.8 -50.0 -47.6-47.6-52.4-52.4-60.0 H28. 7∼9 H28. 10∼12 H29.1∼3 H27. 10∼12 H28. 1∼3 H28.4 $\sim$ 6 (見通し)





**一**増加









※建設業の売上高は完成工事高

#### 採 算



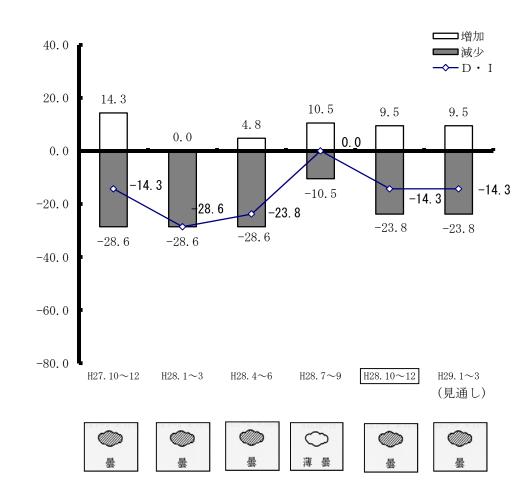






今期の採算D・Iは、採算好転を 挙げた企業が9.5でしたが、採算 が悪化した企業が大幅に増加したた め、 $\triangle$ 14.3まで悪化し、景況天 気図も薄曇から曇へと変化ました。

来期は、採算の好転を予想する企業、採算の悪化を予想する企業ともに変化がなく採算D・Iは横ばいの見通しです。

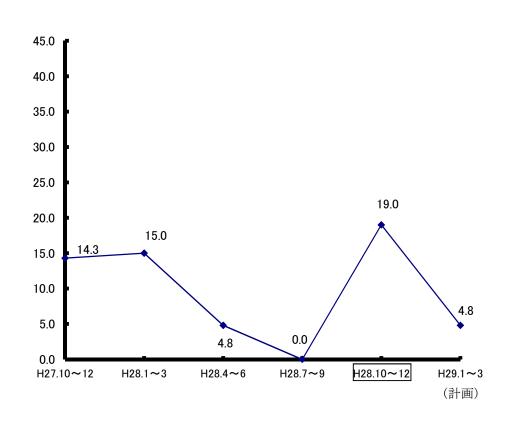


# 設 備 投 資

今期は、設備投資を実施した企業が増加に転じ、19.0となりました。

来期は、設備投資を予定する企業 が再び減少し、4.8まで低下する 見通しです。

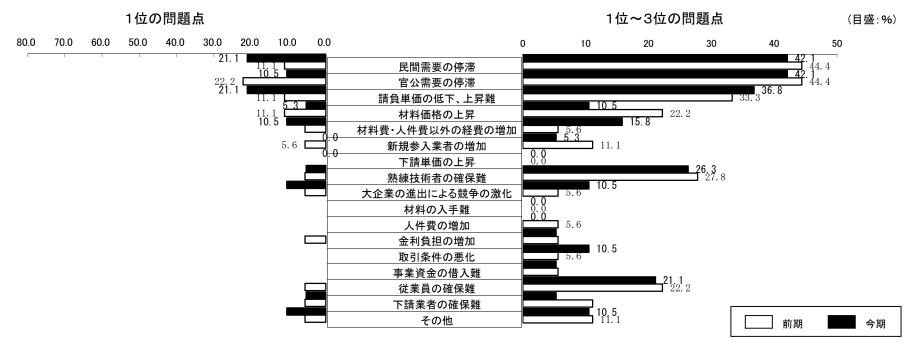
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した 企業数の割合を示します。



#### 経営上の問題点

#### 岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



### 売 上 高



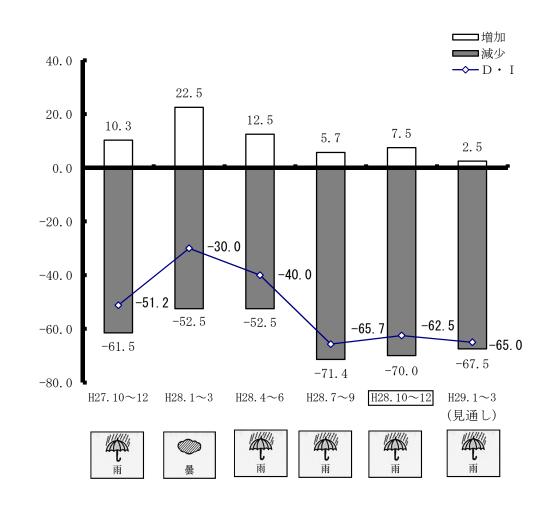






今期は、売上高増加企業がわずかに増加し、売上高減少企業もわずかに減少したことから、3.2ポイント上昇したものの、売上高D・Iは依然として $\triangle$ 62.5と低い水準にあります。

来期は、売上高増加を予想する企業の減少と売上高減少を予想する企業の減少により、売上高D・Iは、2.5ポイント悪化して△65.0となる見通しです。



### 採算

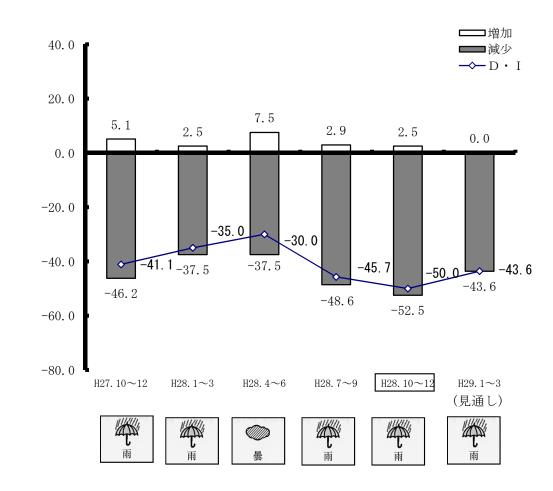






今期は、採算が好転した企業がほぼ横ばいだったものの、採算が悪化した企業が増加したため、採算D・Iは4.3ポイント減少し、△50.0まで悪化しています。

来期は、採算の好転を予想する企業がゼロとなるものの、悪化を予想する企業が減少するため、採算D・Iは改善する見通しです。

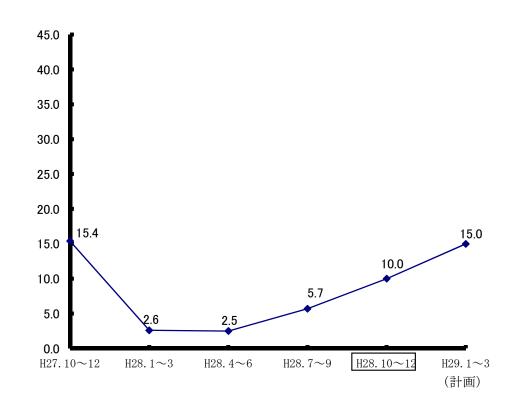


### 設 備 投 資

今期、設備投資を実施した企業 は、10.0まで増加していま す。

来期は、設備投資を計画している企業が5.0ポイント増加し、3期連続して増加することが見込まれており、上昇基調にあります。

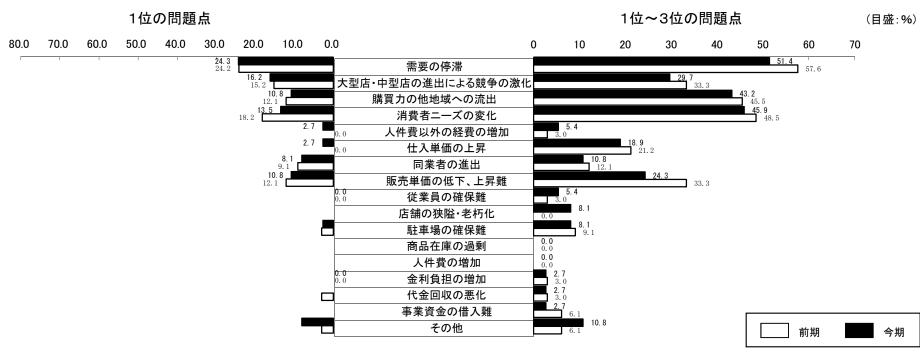
(注) この指標は、規模の大小に かかわらず、設備投資を実施した 企業数の割合を示します。



### 経営上の問題点

#### 岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



### 売 上 高

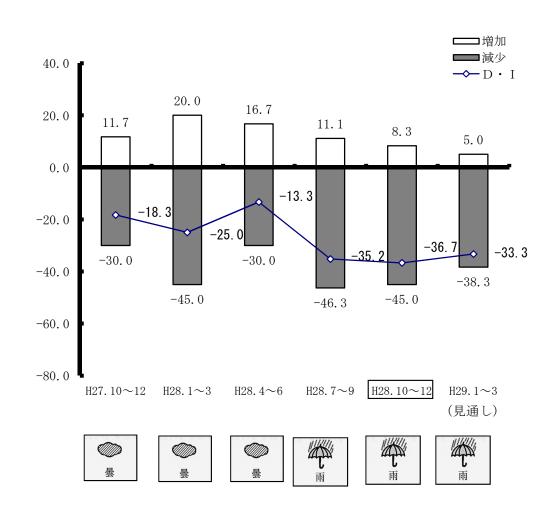




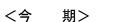


今期は、売上高増加企業が減少したものの、売上高減少企業も減少したため、売上高 $D \cdot I$ は、1.5ポイント減少して $\triangle$ 36.7となり、わずかに悪化しました。

来期は、売上高増加を予想する企業 の減少と売上高減少を予想する企業の 減少により、売上高D・Iは△33. 3まで改善すると見込まれます。



### 採算



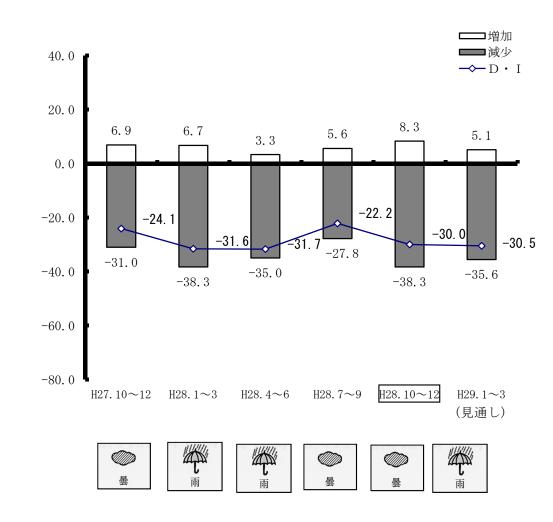
<来期見通し>





今期は、採算が改善した企業が増加したものの、採算悪化企業も増加したことから、採算D・Iは7.8 ポイント減少し、 $\triangle$ 30.0まで悪化しました。

来期は、採算の好転を予想する企業と悪化を予想する企業が減少し、 見込みで、採算D・Iは、ほぼ横ばいとなる見通しです。

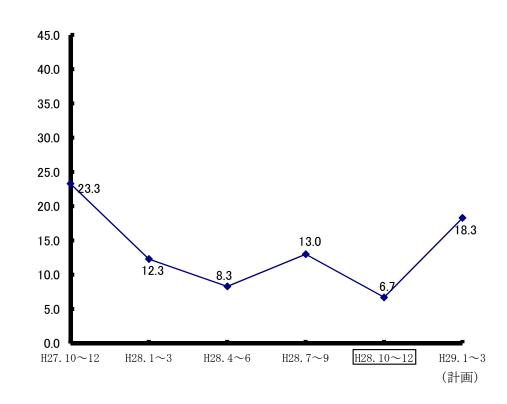


### 設 備 投 資

今期は、設備投資を実施した企業は6.3ポイント減少の6.7となりました。

来期は、設備投資を実施する企業の増加が見込まれ、18.3まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

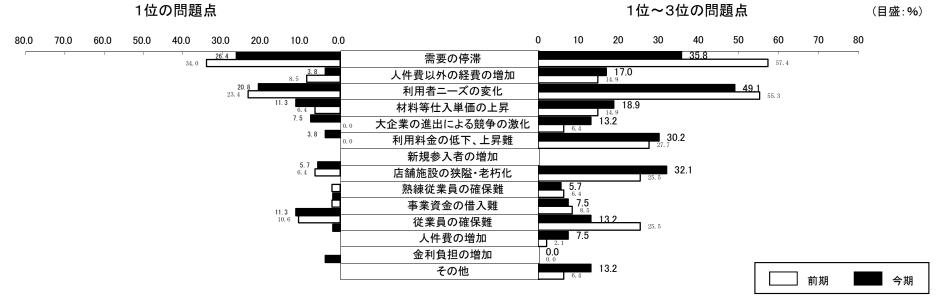


### 経営上の問題点

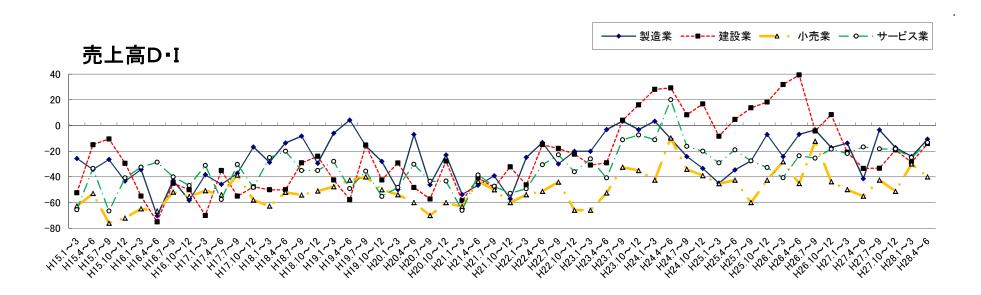
#### 岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

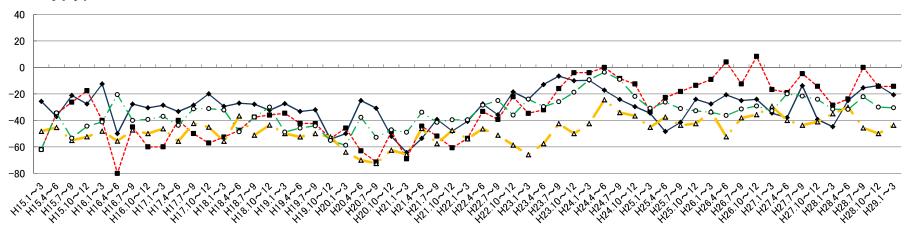
A HORRER



### 全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)



#### 採算D·I



# 集 計 資 料

.

#### 査 調 要 項

1. 調 査 対 象

(1) 対象地区

県内10商工会地区 遠野、陸前高田、二戸市、雫石、葛巻町

(商工会名)

紫波町、金ケ崎町、岩泉、軽米町、野田村

(2) 対象企業数

150

企業

(3) 回答企業数

企業 150

2. 調査対象期間

平成28年10月~12月を対象とし、調査時点は平成28年11月15日としました。

- (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
- (2)調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の 抽出は、業種規模等有意選出により行いました。
- 4. 対象企業等内訳

 業種		項目	対 象	企	業数	回答企業数	回答率 (%)
製造業	(地域産	〔業〕	29	(	19.3)	29 ( 19.3)	100.0
建	設	業	21	(	14.0)	21 ( 14.0)	100.0
小	売	業	40	(	26.7)	40 ( 26.7)	100.0
サー	ビス	、 業	60	(	40.0)	60 ( 40.0)	100.0
			150	(	100.0)	150 ( 100.0)	100.0

(注)カッコ内の数字は、構成比(%)を表す。

5. そ 他 の

本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目に ついての増加(上昇、好転、長期化)企業割合と減少(低下、悪化、短期化)企業割合の差を示すも のであります。